

「院長さん きいて！」 への回答

「夜間救急受診し、入院になりました。診察した医師が入院中の主治医だそうですがうちの子は何年も神経科にかかっているのに神経科の主治医に担当してほしいのですがなぜ、たまたま拾った医師の科で診ることになるのでしょうか？本館に入院になると他科医師になってしまうので不安だし不満です。」

との投書に回答いたします。

この度の受診に際して、不安な思いをさせてしまひまして申し訳ありません。

感染症による体調不良などで入院する場合、神経科以外の科の医師が主治医になることがあります。元の病気や障害に対して対応が必要な場合は、神経科の医師が協力して対応しております。小児の全身管理・感

染症などを修めた小児科専門医が診療に当たっておりますのでご安心ください。

また診療内容に不安がある場合には、いつでも遠慮なく担当する医師にお申し出いただきますよう、お願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「拓桃に面会でも本館でしか受け付けできないのは不便です。そこは仕方ないとしても、面会証を返すポストを拓桃にも設置してほしいです。」

との投書に回答いたします。

面会に係る手続きにつきましてご不便をお掛けし、申し訳ありません。

面会証の返却については、病棟での回収も行っており、これは今後も続けてまいります。

また面会証の返却の運用については、防犯上の観点から、これまで通り原則として総合案内及び防災センターへの返却をお願いいたします。

ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」 への回答

「医療的ケア児の月に1回支給していただく在宅ケア物品についてのお願いです。・注入ボトル200ml・JMSのシリンジ50mlや100mlの支給をお願いしたいです。東北大学病院など他の病院では取り扱っているようなので…。(たくさんの方の保護者様が求めています。ママ友の意見です。)」

この度は、ご意見や情報をありがとうございます。

ご希望の規格は、院内採用品でないものもありましたので、今後検討させていただきます。

なお、在宅ケア物品については、入退院センターへ直接お申し出くださいますようお願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」 への回答

「24歳になる子の親です。こども病院開設以来、大変お世話になっております。二分脊椎で成長期は何度もシャントトラブルを起こし手術して頂きました。13歳の手術を最後にトラブルもなく今迄来られました。この度仙骨部に術痕のトラブルかと思い電話で問い合わせしましたが他病院で受け入れてもらえず路頭に迷った次第です。20歳をすぎたからこども病院は卒業！と放つのではなくその後のフォローアップも必要かと思っております。電話交換外来窓口の通り一遍な対応も何歳になっても心配が耐えない親や本人の不安をかき立てます。子供は大人になります。今、外来には沢山の親、子供が居ます。この親や子供達が私の様な気苦労をしない様子供を専門に扱う病院としての役割、責任を自覚し”親身な対応” ”愛情ある温かい対応”をお願い致

します。こども病院、医師、スタッフ様方には本当に感謝しています。失礼をお許し下さい。」との投書に回答いたします。

この度は、投書を頂きましてありがとうございます。

小児患者の成人移行につきましては、重要な課題となっており、当院を含む全国の小児医療機関で様々な取り組みがなされております。

この課題の解決のため、当院では令和2年度より成人移行期支援外来を設置し対応しております（当院ホームページ → 外来のご案内 → 特殊外来 → 成人移行期支援外来）。

本外来の受診につきましては、主治医にご相談をいただきますようお願いいたします。

現在、国の方針として各県に移行期医療支援センターを設置して、スムーズな成人医療への移行を支援する方向が打ち出されており、宮城

県では来年度に設置予定となっております。当院としましても、同センターと連動しスムーズな成人移行を進めてまいります。

本件につきまして、ご理解を頂きますようお願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「こども病院様 ラウンジ「ひまわり」レンジが置いてあるので大変にありがとうございます。コーヒーもおいしいです。（自販機）レンジの中が汚れています。こびりついています。よろしくお願いします。」

との投書に回答いたします。

電子レンジについては、清掃が行き届かず申し訳ありません。今後は注意いたします。

その他にもお気づきの点がありましたら、遠慮なくお近くのスタッフにお申し出くださいますようお願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「何かの理由があっておかずがつまめたくなりました。はじめは大丈夫と思ったのですが思っていたよりもつまめたいしかたかったです。早く前みたいにあったかいおかずがたべたいです。」との投書に回答いたします。

このたびは病院の食事について、対応できずに大変申し訳ありませんでした。

お食事が病棟まで適切な温度でお届けできるよう、温冷配膳車の温度管理を定期的を実施しておりますが、今回のような場合にはスタッフにお知らせいただきますようお願いいたします。

今後も、美味しいお食事をお届けできるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

病 院 長

～ 感謝のお言葉とご要望を頂きました ～

「いつも病院の先生はじめ皆様には大変お世話になりありがとうございます。病気がわかってからも適切な治療と、先生方の本当に温かなチーム医療で我が子も落ち込みすぎる事なく前向きに、色々な事を受け入れ、日々を過ごす事ができています。心から感謝しています。また、病棟の看護師さんの方々やクラークの方、チャイルド・ライフ・スペシャリストの方、お掃除の方栄養士さんの方々…本当に沢山の方々に支えられ、入院が成り立っている事を肌で感じ、皆々様に心から御礼申し上げます。ありがとうございます、と伝えたくこちらを書かせて頂きました。看護師さんはもちろん、子に関わる全てのスタッフの方々が、私達親子にあたたかく接してくださり、我が子は病気になってしまったけれど、孤独ではない、お話をきいてくれる方がこんなに居るんだと、勇気を沢山もらえております。優しいお声かけ、本当に嬉しいです。いつも本当にありがとうございます。度々これからも入院になると思いますが、全くつらくなく思える事、皆々様のおかげです。これからも

どうぞよろしくお願いいたします。たった1つですが、お願いがあります！お風呂のシャワー、水流がとても弱いです。別の階に入院した時は感じませんでした。が、この4Fのシャワーに限り...だと思えます。つきそい親用のシャワーが水流が少し弱く、子どもが入る用のシャワー（そうじのため使いました）も出してみました。が、親用のシャワーよりもずっと弱くてビックリでした。子ども、ボディーソープの泡がなかなか流しきれず、大変だったとの事です。これからの季節、どんどん寒くなるので、色々な事をたくさんガマンしている子ども達に、あたたかでお湯がイッパイ出るシャワーを使わせてあげて欲しいと思えました。大変お忙しい中とは思いますが、どうかご確認くださり水量の調整など前向きにご検討いただきたく思えます。長々書いてしまいすみません。これからもどうぞよろしくお願いいたします。」

この度は、お子さんの入院で大変な中にも関わらず、多くの感謝のお言葉を頂きまして、ありがとうございます。多くの職種で皆様に医療

の提供を行っていることについてご理解を頂き、嬉しく思っております。

シャワーについては、ご不便をお掛けしました。投書を拝見し、対応いたしました。今後ご不便な点がありましたら、遠慮なく病棟スタッフにお申し出いただけますと迅速な対応が可能です。

今後も、皆様に寄り添う良質な医療及びサービスの提供に努めてまいります。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「院長さんきいて！に書ききれないので印刷で失礼します。3階病棟に付き添い入院しています。一部の看護師さん（●●の●●さん）の言動に対してです。シーツ交換を看護師さんをお願いしたときにこれくらいの汚れでは普通は変えないんですがというような嫌味っぽいことを言われました。本人はそういうつもりで言ってないかもしれませんが、今回が初めてではなく以前に別のことでも嫌味っぽいことを2、3回その看護師さんに言われたので、伝えなければと思いこの手紙を書いています。その看護師さんだけでなく、他のもう1人の看護師さん（●●さん）の言動でも何度も不快な思いをしたことがあります。例えば浣腸などお願いしたときに私がやるのかというような表情と言動がありました。親はあくまでケア、付き添いをお願いされる立場ではないのですか？ケア慣れるためとはいえ看護師の仕事でもあると思うのですがそのような対応をされると、ささいなことでもお願いしづらくなるため、看護師

さんと呼ばれた方がいいときでも自分で解決しようとしたりしてしまいます。それは子どものためにも良くないと思います。医療者と私たち親は協力して子どものケアをしていくべきですよ？医療者のことで、親が不快な思いをして、そのストレスを感じモヤモヤする時間はとてもとても無駄です。我が子が大変な状況でなぜ看護師からの言動でストレスを感じなければいけないのでしょうか。入院患者とその家族が少しでも安心して過ごせるような環境作りをするのが看護師、医師の役割ではないでしょうか。とはいえ人間なので完璧にはいかないと思いますが、患者や患者の家族がどういう気持ちになるか考えて、言動には気をつけてほしいです。我が子に会いにいきたいのにそんな看護師さんがいると病院に行きたくないとさえ思ってしまう。ほとんどの看護師さんは話しやすく優しくなんでも相談できる素晴らしい看護師さんだけに残念です。不要なストレスを医療者が与えないでください。どうか宜しくお願いします。」

との投書に回答いたします。

この度は、不快な思いをさせてしまいまして、誠に申し訳ありません。

職員に対し、付き添い入院をしている保護者の方のお気持ちに配慮した対応に努めるよう指導いたします。

また病棟では、複数の患者さんに同時に対応している関係上、ご希望どおりに対応できない場合があることにつきましてもご理解いただきますようお願いいたします。

今後もお気づきの点がありましたら、その都度、遠慮なく病棟師長にお申し出いただきますようお願いいたします。

病 院 長